

しゃらくかい
写楽同会

令和3年9月30日 69

<https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
投稿/投票宛先 ; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2021 Sharakukai

長月兼題「野分または嵐」出題：昼寝覚

写真俳句



1 野分ゆく梢をなぶり雲を撃ち

季語：野分（秋）



2 滝しぶき吹き上げ散りぬ野分かな

季語：野分（秋）

飛沫が強風に吹き上げられていました。



3 竹林を揺さぶり起こす野分かな

季語：野分（秋）

静謐な竹林も野分に起こされざわつき始め・・・。



4 猫顔もふっと笑って野分あと

季語：野分（秋）



5 雲走り波砕け散る初嵐

季語：初嵐（秋）

大風に海も荒れていました。遠くの島は伊豆の大島です。



6 強い風ガラス戸たたく嵐くん

無季



7 野分去り明けて見遣れば柳瀬川

季語：野分（秋）



大ぶりのすすきなぎ打つ嵐かな

8 大ぶりのすすきなぎ打つ嵐かな

季語：すすき（秋）

一面のすすきが一齐に動く様子は見応えがありました。



台風の日の中に居る
夕餉かな

9 台風の日の中に居る夕餉かな

季語：台風（秋）

一瞬の静寂のひと時、準備したおにぎりを頬張る。

俳句



撮影：昼寝覚

大風に汐が巻き上がっている写真です。

1 かの嵐吾子 逝きし夜の天地泣く

無季

2 野分去り朝日大きく輝けり

季語：野分（秋）

写真俳句にするかどうか迷いました。

3 雨多い秋の嵐だ風強し

季語：秋嵐（秋）

4 北海へ嵐の抜けて秋日差

季語：秋日差し（秋）

5 台風来 過ぎたる雨風ないことを

季語：台風（秋）

6 星屑の輝き増して野分あと

季語：野分（秋）

強風の後には星の輝きも一層増しますね。

7 猛り狂う雨風いずこ虫時雨

季語：虫時雨（秋）

台風一過、季節は一転して秋たけなわに。

8 呼び声の吹き戻されて野分中

季語：野分（秋）

強い向かい風に声が吹き戻されます、相手には届いてくれない。

9 秋乱後（しゅうらんご） クリスピー空、際立つ木

無季

ポプラの木。

短歌準坊 **テレビから聞きたい歌が流れても一緒に歌う妻邪魔になり****川柳**準坊 **金メダル がぶり齧られ 菌メダル**

名古屋市長の暴挙にはびっくり。

明かりなど何処にも見えず目を醒ませ！

コロナ禍から脱出の明かりが見えてきたと某総理。

先に逃げ千畝はいない外交官

アフガンに取り残された人々が心配。日本の対応を杉原千畝はどう思う。

この写真で一句

7月～9月兼題写真「道標」



出題：久芽

日本の最北端宗谷岬で撮った写真です。

(到着順)

北切雀 **蛤になれる地さがす雀かな**

季語：雀蛤となる（秋）

いつか使いたいと思っていたこの季語。兼題のおかげでやっとなんとか。

道標に訪ねし地名秋の風

季語：秋風（秋）

再訪することはないであろう地名。道連れだった友も逝ってしまった。

爽籟（そうらい）の中に佇む道しるべ

季語：爽籟（秋）

道しるべ戻る鳴（しぎ）には不要なり

季語：戻り鳴（春）

渡り鳥の鳴は春に南国へ帰っていきます。

昼寝覚 コロナ禍や 夢にて行かん夏の島

季語：夏（夏）

沖縄やフィリピン、行ってみたいものです。

秋の空 あまりに遠い道標

季語：秋の空（秋）

準坊 道しるべ残り2キロと蝉しぐれ

季語：蝉しぐれ（夏）

遠雷に足早まりて道しるべ

季語：遠雷（夏）

サハリンの雪山を指す道標

季語：雪山（冬）

北天にまた巡り来る碓星（いかりぼし）

碓星（カシオペア）＝秋

秋になるとカシオペア座が見えてきます。季節の道標です。

おこ 道標（どうひょう）は 要るか要らぬか 雲の峰

季語：雲の峰（夏）

道標（どうひょう）のなき径（みち）行けば 草いきれ

季語：草いきれ（夏）

池福楼 人生の岐路に再び戻れたら

無季

どこぞへもとんでいきたいみちしるべ

無季

久芽 金木犀香り漂う道しるべ

季語：金木犀（秋）

サラサラと芒の撫でて道しるべ

季語：芒（秋）

千泉 旅誘う秋空うれし道しるべ

季語：秋の空（秋）

色々な地名が書かれているのを見て楽しくなりました。

マム 道しるべ選ぶ道読めぬ老ドライブ

無季

陽閑 道標のうえ飛ぶ鳥の空たかし

季語：空たかし（秋）

自由俳句**北切雀 葉脈を走る命や柿若葉**

季語：柿若葉（夏）

春に食べた柿の種が育っています。

朝寒や靴下かさね立つ厨（くりや）

季語：朝寒（秋）

足が冷える季節に。



iSAMU



オクラの花



ガウラの花（白蝶草）

令和3年8月「帽子」（出題：久芽）の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

* 今月も自分の心情を反映させるような選択をしました。

写真俳句 投票数：38

一席



黙々と鎌サクサクと麦わら帽 久芽（10 票）

季語：麦わら帽（夏）

<< 夏は草取りに追われてしまい畑仕事は大変。>>

- * 「もくもく、サクサク」と気持ちのいい韻。
リズム良く作業を進められるのは長年培った技。
- * 夏の雑草の威力には、参りますね！
- * 「もくもく、サクサク」 リズムがいいですね。
写真を見ると雑草もだいぶ伸びているようで、
おひとりで黙々と草を刈っておられる様子、
御苦労さまです。
- * リズム感の良さ、2音ずつの繰り返しに工夫が見えます。
- * 句の音の響きが聞こえる。
- * 畑仕事に麦わら帽子は必需品ですよ。

* 暑さと虫とかで大変ですね。でも収穫の喜びが待ってます。

* 俳句がいいですね。リズムカルな組み立てで実直な姿と手の動きを表す言葉
選びがナイス。最後の「麦わら帽」はこの炎天の辛い作業の主役！

* 草取りに集中している様子が擬態語、擬声語から伝わります。刈られた
草の匂いも伝わってきます。



緑濃し客待ち顔の麦藁帽 昼寝覚 (10 票)

季語：麦藁帽 (夏)

<< 公園にアイスクャンディー売りでしょうか、暑い中屋台出していましたが、客の姿は見えませんでした。>>

- * 何気ない写真ですが、懐かしさにはっとさせられました。
- * 人の居ない木陰の屋台がわびしく感じられました。
- * 写生句ではありますが、昔の映画の1シーンのようないい雰囲気です。
- * コロナのせいでしょうか…。
- * 消えゆく懐かしい風物詩ですね。

- * 日本ならではのアイスのおっちゃん懐かしい。イギリスではアイスバン (アイスクリーム販売車)。
- * 緑陰の後ろ姿の麦藁帽子がいい感じ。なんだかホッとする写真と句ですね。
- * 今の世の中を反映しているような写真だなあと感じました。人はいなくても自然は間違いなく季節を演出していて、なんだか切ない気分になりました。

佳作 (令和3年8月号掲載順)



姿見にポーズを取りて夏帽子 準坊

季語：夏帽子 (夏)

<< 夏帽子を被り全身を鏡に写してみる。>>

- * 帽子が良く似合うエレガントな方ですね。やっぱりちょっとポーズ取りたくなりますね。
- * 帽子を被るとポーズを取りたくなりますね。
- * 帽子を被るとなぜか意味もなく気取りたくなる。某財務大臣のように。
- * 素敵な帽子ですね。お顔を覗き見たいです。映画マイフェアレディの競馬場で女性たちの着飾った帽子のシーンがありましたね。



麦藁帽ショットに揺れる羽飾り iSAMU

季語：麦藁帽 (夏)

<< 2年ほど前のものとして、夏ゴルフに毎年行っていました高原のゴルフ場での光景です。>>

- * 高原ゴルフは気持ちいいでしょう。
- * この様子はご自分では見れない。多分お連れさんかな。



五十年記憶の欠片 (かけら) 夏帽子 池福楼

季語：夏帽子 (夏)

<< 日常の何でもないことを生涯憶えていることがある。>>

- * 夏帽子の思い出はなんだろう。
- * いい思い出でしょうね。
- * 「記憶の欠片」素敵な表現ですね。
- * 娘たちの麦わら帽子姿を懐かしく思い出しました。
- * 私も帽子で一つ記憶があります。(大きな麦わら帽子に花でアレンジしたこと)。



溽暑なほ乗馬キャップの揺らぎなし 北切雀

季語：溽暑（じょくしょ、夏）

<< Tokyo 2020、イギリスのお家芸ドレッサージ（馬場馬術）。>>

- * どんなに暑くても馬術の正装は伝統ですね。
- * この夏のTokyoの暑さをよく言い当てた季語を使っています。
- * どんなに暑くてもイッシ乱れぬ姿は誠に美しい。
- * 馬術の醍醐味を表す句と写真が素敵です。

- * 大変な思いで開催したオリンピック。その暑い中、イギリスの乗馬選手は凜としてましたね。感動しました。
- * 「揺らぎなし」に選手の強固な意志と競技に賭ける集中力を感じました。「溽暑」という言葉は初めて知りましたが、この句に使うのにぴったりですね。



店中央帽子売り場や夏来る 千泉

季語：夏来る（夏）

<< いつも洋服売り場の隅にあった帽子売り場が移動しました。>>

- * 売るにはファッションのみならず気候に敏感でなければ。
- * 確かに季節の移ろいは衣料品売り場の真ん中にありますね。



炎昼の帽子まぶかに過ぎる君 陽閑

季語：炎昼（夏） 借画像

- * 俳句で「君」は恋愛対象の人。過ぎて行く君に作者はなにを告げなかったのでしょうか。
- * 帽子に隠れ、口元だけ見えるのは何かミステリアス。
- * 個性的な帽子ですね。日本の昔話で鉢担ぎ姫とか、ふとおもいだしました。



白い山高シェフの印夏のキッチン 梵木 季語：夏（夏）

- * 誇りの一品、ぜひ賞味したいです。
- * この老シェフ、いい味を出しています。



撮影：久芽

一席

帽子とる顔の汗ふく熱い夏 梵木 (6 票)

季語：汗、夏 (夏)

- * 「暑い」ではなく「熱い」で体感温度が伝わります。今年の日本は特に暑かったとか。
- * 帽子に汗も染みて重くなった夏でした。
- * 帽子を被らずにはいられない夏、でも汗をかくのでとりたくもなる… 湿度が高い日本の夏は辛いがよくわかる一句。
- * 二つの行動が順番に叩き込まれるように書かれていて、暑い夏の実感が出ているように感じました。
- * 極当たり前の句の中にストレートな強さがある。

麦藁帽まぶかに被り日の匂い 準坊 (6 票)

季語：麦藁帽 (夏)

<< 麦藁帽子を深く被るとひさしから麦藁の香りが。 >>

- * 麦藁と日の香。夏の一断面ですね。
- * 帽子は数あれど麦わら最高、太陽にも愛されてる！！
- * 夏の匂いがします。
- * 麦藁帽の独特の匂い、干し草のようでまさに日の匂いですね。
- * 麦わら帽にはどこか懐かしい陽の匂いがしますね。

佳作 (令和3年8月号掲載順)

頭頂の白髪隠そか夏帽子 おこ

季語：夏帽子 (夏)

- * 白髪隠しは大変ですね。
- * アルアル。私の場合は無駄な抵抗なのですが (笑)。
- * 同じ思いの人が沢山居ると思います。私もその一人。
- * 帽子とさらにマスクをつければ、老いも隠せます。
- * まさに 私です。夏も冬もかぶってます。

編み笠の舞い秘めやかに風の盆 池福楼

季語：風の盆 (秋)

<< 「おわら風の盆」鼓弓の調べと鳥追笠の神秘的な踊りに心惹かれる。帽子を拡大解釈しました。 >>

- * 編み笠は何とも言えない雰囲気ですね。風の盆一度行ってみたいです。
- * 「風の盆恋歌」でしたっけ？話題になったのを思い出しました。
- * 昨年に行った「おわら風の盆」を思い出しました。
- * 風情のある句ですね。この行事を見てみたい気分になりました。
- * 盆踊りで被る編み笠。富山や新潟の盆踊りは憂と物悲しさがありますね。

つば広の日除け帽子や身のちぢむ 千泉

季語：日除け（夏）

<< 大きなつば帽子が好きなのですが、あちこちぶつかり迷惑をかけることがあります。>>

- * そうなんですよ、帽子が大きい分だけ身が縮む。
- * 身のちぢむ思いとは奥ゆかしい。近頃は人の迷惑を顧みない輩が多すぎます。

ボロボロの麦わら帽子日やけ妻 陽閑

季語：麦藁帽子、日焼け（夏）

- * いい夏を一緒にいくつも過ごした帽子でしょうか。
- * ボロボロになっても捨てられない愛用の帽子、私にもあります。
- * 打って変わって、飾り気のないそのままの妻に対する愛情があふれるような句ですね。心があつたまる感じです。
- * 季重ねもあえて使ったと思われる程。愛おしいお連れ合いへの敬慕。
- * 働き者のお連れ合いへの賛歌のようですね。

夏帽子病隠して亡き娘笑む マム

季語：夏帽子（夏）

- * 娘さんも親御さんも辛い。
- * 娘さんへの想いがこの季語に詰まっている。

さよならも告げずに去りし夏帽子 昼寝覚

季語：夏帽子（夏）

- * 夏は別れの季節でもあるのでしょうか。なんだか切ないですね。
- * この句で色々なシーンが想定されますが、私は甲子園の初戦に負けた生徒の悔し涙を思い浮かべました。
- * 青春の甘酸っぱい思い出でしょうか。

飛ばされた帽子追う孫背に西日 北切雀

季語：西日（夏）

<< 大好きなキャラの帽子を風に飛ばされ半泣きで追う孫。こちらはその孫が車道に飛び出さないように追う。>>

- * 小さい子の帽子姿はとても可愛いですね。
- * ストーリーのある句。よちよち歩きのおまごさんのとまどうような愛らしい表情が目につかぶ。

雨音に出番なきかな夏帽子 久芽

季語：夏帽子（夏）

<< 雨の日が多かった7月。新しい帽子を被って出かける予定が……。>>

- * 新調の帽子で出かけるのを楽しみにしていた？がっかりですね。
- * 8月も雨が多かったですね。夏帽子の出番はなかったのでは……。
- * 確かに雨が多く、出かけることも少ない夏でした。
- * 帽子をかぶって出かける晴天が、待ち遠しい7月でした。
- * 本当に気候変動ですね。

自由俳句**北切雀 バス停に花栗ぽとりまたぽとり**

季語：花栗（夏）

- * 自然に出てくる言葉をいい作品にまとめて好感度大。

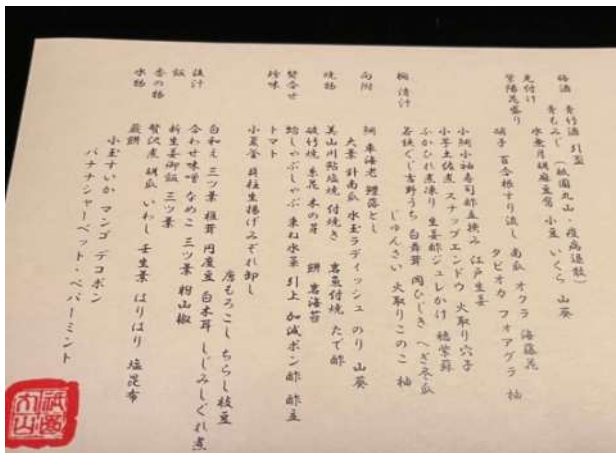
川柳**北切雀 好い数値出るまで計る血圧計**

- * あるあるです！！
- * 我ら夫婦も毎朝晩同じことをしています。

令和4年1月からの「写楽句会」のとりまとめ、編集をして下さる方は いらっしゃいませんか？

8月号でお報せしましたように、継続して下さる方がいらしゃらない場合、
誠に勝手ながら、写楽句会は本年12月号で終了とさせていただきます。

- * 神無月10月の兼題は梵木さんから「島」、霜月11月はマムさんから「コーヒー、紅茶」、師走12月は陽関さんから「プレゼント」と出ています。ただし12月の全作品は投票対象外となります。
 - * 令和3年長月9月号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた2作品の番号を投票して下さい。
 - * また特にいいと思われた写俳、俳句各1作品に持ち票2票ずつを投票されても結構です。
 - * 句とは別に写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら「写真いいね！」として投票下さい。
 - * 作者名が入った作品は投票対象外です。
 - * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。写真、短歌、川柳、自由俳句も大歓迎です。
 - * 9月号への投票10月号作品への投句、投稿の締め切りはともに10月20日です。
 - * 読者さんからの写真や句の投稿もお待ちしています。
- * 「この写真で一句」
1. 兼題写真から自由に発想して「俳句」を詠んで下さい。季節は問いません。
 2. 川柳、短歌と同様に投稿は自由です。
 3. 作品は記名で投票の対象外となります。
 4. 10月、11月の兼題写真は読者NGさんからの「おしながき」で、締め切りは11月20日です。
1ヶ月早い締め切り、発表となりますので、ご注意ください。



おしながき

撮影：読者NGさん

写楽句会 連絡先： kinuko_thompson@hotmail.com
 写楽句会： <https://3ban.nobody.jp/syaraku/syaraku.html>
 四季の森空間： <https://isamusouma.web.fc2.com/>